

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和06年03月28日

計画の名称	良好な河川環境と都市環境を保全・創出し、人々が憩い、賑わう河川整備												
計画の期間	令和02年度～令和06年度(5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	東京都, 墨田区												
計画の目標	水質の改善を図り良好な河川環境を保全・創出するとともに、災害時における利用者の安全を確保しつつ回遊性や連続性を向上させ、水辺の賑わいをより一層創出する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	3,185	A	3,185	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R2当初)	中間目標値 (R4末)	最終目標値 (R6末)
1	緊急輸送路へのアクセス向上やテラスの連続化を図り、利用者の安全を確保するとともに水辺の回遊性を向上させる。 スロープ設置や支川合流部等への橋梁設置により、テラスの不連続箇所が解消された割合	25%	94%	100%
2	官民連携によるにぎわいある水辺空間を創出し、人々が水辺で触れ合う機会を創出する。 にぎわいある水辺空間の創出による当該地訪問者の増加人数	12000人	12000人	15000人
3	汚泥等の堆積が著しい河川において、重点的なしゅんせつを実施し、水質改善を図る。 しゅんせつにより改善される河川の水質(BOD75%値)	5mg/L	5mg/L	5mg/L

備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靱化を含む	—	定住自立圏を含む	—	連携中枢都市圏を含む	—	流域水循環計画を含む	—	地域再生計画を含む	—	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
定量的指標は都の単独事業の進捗も考慮している。														

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R02	R03	R04	R05	R06				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
その他総合的な治水事業	A08-001	総合治水	一般	東京都	直接	東京都	環境	—	荒川圏域総合流域防災事業（隅田川）	連続化橋梁（2箇所）、スロープ（8箇所）等	中央区 他3区	■	■	■	■	■	1,404		—	
		小計																1,404		
都市水環境整備事業	A14-002	都市水	一般	東京都	直接	東京都	統合河川環境（1）	—	統合河川環境整備事業（北十間川）	スロープ（4箇所）、転落防止柵等	墨田区	■	■	■	■	■	363	1.7	—	
	A14-003	都市水	一般	東京都	直接	東京都	統合河川環境（1）	—	統合河川環境整備事業（新河岸川）	汚泥しゅんせつ（24千m3）	北区 他1区	■	■	■	■	■	120		—	
	A14-004	都市水	一般	東京都	直接	東京都	統合河川環境（1）	—	統合河川環境整備事業（隅田川）	汚泥しゅんせつ（206千m3）	北区 他5区	■	■	■	■	■	1,050		—	
A14-005	都市水	一般	東京都	直接	東京都	統合河川環境（1）	—	統合河川環境整備事業（日本橋川）	汚泥しゅんせつ（7千m3）	千代田区、中央区	■	■	■	■	■	242		—		

A 基幹事業																					
基幹事業 (大)	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
		種別	種別	対象	間接							R02	R03	R04	R05	R06					
		一体的に実施することにより期待される効果																			
		備考																			
都市水環境整備事業	A14-006	都市水	一般	墨田区	直接	墨田区	統合河川環境(1)	—	統合河川環境整備事業(北十間川)	証明灯等	墨田区		■	■				6	1.7	—	
												小計							1,781		
											合計							3,185			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R02	R03	R04		
配分額 (a)	277	311	402		
計画別流用増△減額 (b)	0	0	0		
交付額 (c=a+b)	277	311	402		
前年度からの繰越額 (d)	0	18	16		
支払済額 (e)	259	313	408		
翌年度繰越額 (f)	18	16	10		
うち未契約繰越額 (g)	0	0	0		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0	0		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

計画の名称： 良好な河川環境と都市環境を保全・創出し、人々が憩い、賑わう河川整備

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 ①基本方針・上位計画等との適合等 1) 目標が河川基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 ①基本方針・上位計画等との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 ②地域の課題への対応 1) 地域の浸水状況や土地利用の状況等を踏まえた目標となっている。	○
I. 目標の妥当性 ②地域の課題への対応 2) 地域の住環境等の状況を踏まえた目標になっている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 4) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業効果の見込みの妥当性 1) 事業効果をより高めるため、ハード事業とソフト事業を効果的に組み合わせる等の工夫がなされている。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業熟度が十分である。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤円滑な事業執行の環境 2) 計画に記載された事業に関連する地方公共団体等の理解が得られている	○
III. 計画の実現可能性 ⑥地元の機運 1) 事業実施に関し、住民に対する事前説明が行われている。	○